



# saveMLAKとK（公民館）の3年間

2014年6月22日（日）

saveMLAK報告会2014

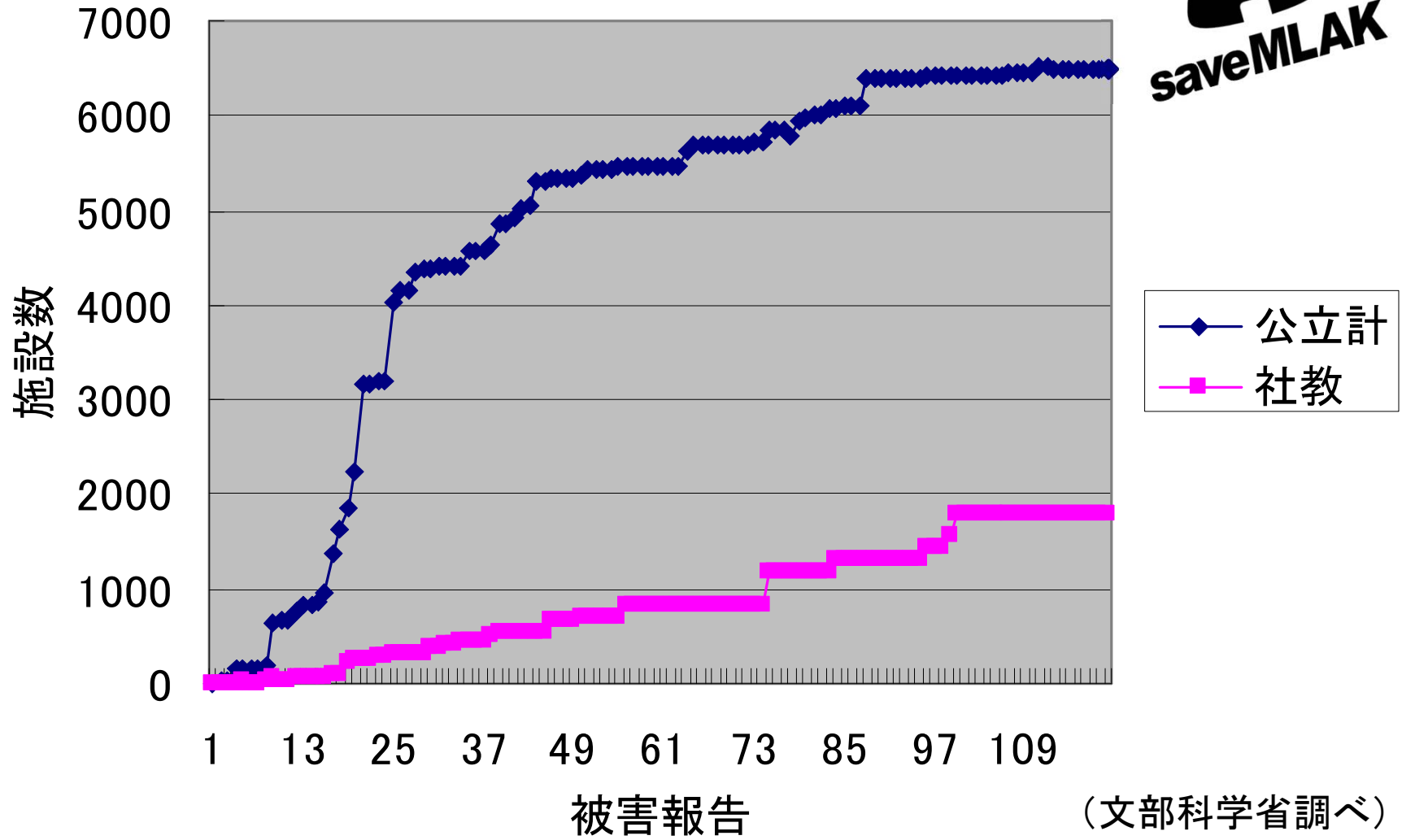
さくらworks（横浜）／エル・ライブラリー（大阪）

文化庁文化財部伝統文化課長

（元文部科学省社会教育課長）

神代 浩

# 被害施設数



(文部科学省調べ)

# 社会教育・文化は後回し？

- 教育委員会はまず学校の状況把握、社会教育担当職員も応援
- 公民館は避難所に
- 県公連＝県立生涯学習センター＝県教委
- 図書館、博物館、文化施設は被災しても、職員は避難所運営の応援へ
- 県立施設が市町村立施設を取りまとめる立場にない



# Kの歩み(2011年)

- 2011年3月16日 savekominkan発足
- 4月11日 saveMLAK発足
- 6月19日 うきうきウィキ祭り(セッション杉並)
- 7月27日 受援者・支援者連絡調整会議(仙  
台中央市民センター)
- 11月10日 図書館総合展フォーラム  
(2012年7月1日報告会時点)
- 施設登録件数: 6,237件
- 被害報告施設件数: 87件



**「MLAを必死で追いかけた1年目」**

# Kの歩み(2012～2013年)

- 2012年7～8月：陸前高田市中央公民館の壁に残されたメッセージの保存(後述)
- 11月20日 図書館総合展フォーラム  
「東日本大震災から1年半を経て～復興に向けた政策課題」  
<http://www.ustream.tv/recorded/27194354#/recorded/27155347>

(2014年6月20日報告会時点)

- 施設登録件数：6,281件
- 被害報告施設件数：102件



**「MLAの背中がどんどん遠のく2, 3年目」**

# 陸前高田市中央公民館の壁に残された メッセージの保存

- 震災で犠牲になった公民館職員に向けた遺族のメッセージが壁に残されていた
- 扱いについて市の内部でも意見が分かれる



- 保存に向けた署名活動⇒市長に提出
- 保存する場合の技術面のアドバイス



- 市の判断で壁を切り取って保存



# 成果と認められる点

- MLAKの間に落ちた案件  
メッセージは文化財ではない≠M?  
メッセージは図書でもない≠L?  
メッセージは公文書でもない≠A?  
施設の復旧・復興でもない≠K?



- 多様な分野の関係者間の連携協力なしには  
解決できなかった

# 課題・反省すべき点

- 支援側と被災地側との意思疎通の難しさ  
= 善意が圧力になりかねない
- 誰の意向に応えるべきか？  
= 市長？メッセージを残した本人？市民？
- 「震災遺構」の保存に関する解決策のモデル  
となりえたのか？  
= そもそも正しい判断だったのか？





# 被災地復興と社会教育

- 被災地の復興に欠かせない役割

ex. 仮設住宅における孤独死防止

住民コミュニティの再構築

離れて暮らす住民同士のネットワーク保持

再建に向けた合意形成(スピードvs合意)

「心の復興」

地域の伝統芸能復活

- しかし、saveMLAKはKの復興にほとんど貢献できていない

= 全て(人、金、意識等)が不足



# K+αの今後の活動(案)

- 被災地公民館の記録の所在情報収集  
*冊子を発行している教育委員会、公民館は意外とあるが、ウェブ上に上がってこない*
- saveMLAKメソッドの普及  
*教育委員会の文化財担当職員向け研修で紹介(予定)*



引き続きご支援よろしく申し上げます。



<http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>